

牛田 しんまち

第70号

編集・発行 牛田新町社会福祉協議会

平成29年3月31日

〒732-0068 東区牛田新町一丁目3-3

TEL. 082-221-7735 牛田新町集会所内

発行責任者 古川平三郎

牛田新町社会福祉協議会

牛田新町地区では学童の登下校見守り、夜警などの防犯活動、地下道の清掃・祇園新道沿いの清掃活動、自主防災会の防災活動など安心安全なまちづくり活動がなされています。4月から市の地域包括支援システムが始まります、牛田新町では町内会ごとのいきいきサロンを始めて12年になりますがサロンの衰退または実施できていない町内会があり、社協が新たに祇園新道沿いの町内会(平地にお住まいの住民：1丁目、2-1、2-2、2-4、3-1、3-2、4丁目)を対象にしたサロン。また坂の上にある3-1、3-2、3-3町内会の住民を対象にサロンを1箇所開設(さつき集会所)を予定し、新町全町民が参加機会が得られる態勢を整える予定です。在宅の方は年齢に関係なくどなたでも参加できるようにします。平地サロン、坂の上サロン両方に参加も自由にできます。また、現在開設中の2-2、2-4、3-3、4丁目町内会のサロンは従来どおり継続実施となります。市社協は地域包括支援システムに助成金を少し出してくれます、せっかくの制度を活用させて頂きます、みんなで戸外へ出ましょう、そして、元気に過ごしましょう。

町内会に入りましょう

きれいなまち、不良のいないまた防災活動の盛んな安心安全なまち、楽しいサロン活動はお金では買えません、町民の手作りです。迷わず町内会へ入りましょう。以下に各部会の活動をご紹介します。

女性会の活動

研修旅行

28年度の研修旅行は岡山県瀬戸市の長島愛生園を訪ねました。語り部さんによるハンセン病について、また隔離されたここでの一生にわたる生活の有様をお聞きしました。明るくお話をされる語り部さんに感動し意義ある研修旅行となりました。



ボランティアロード

牛田駅から水道記念館入口の祇園新道側道を月1回清掃しています。



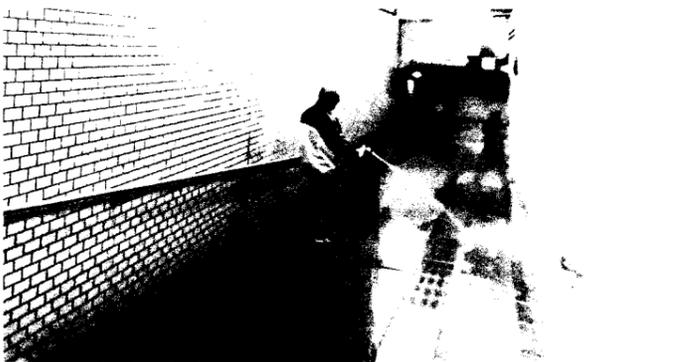
国交省がボランティアロードと名前を付けました。牛田中学校生徒が清掃された道を登下校しています。また別のグループが不動院駅周辺を清掃しています。登下校のボランティアの人々が見守る小・中生徒の通学路になっています。大勢の女性会ボランティアが街の美化に携わっています。



公衆衛生協議会の活動

地下道の清掃

2本の地下道の天井・側壁・床を高压洗浄水による清掃を年10回行っています。地下道にたむろしてごみ捨て・糞尿・SEXをしていた悪どもを寄せ付けない清潔な地下道を取り戻しています。



地下道からでてきたところ2丁目地下道出口



防犯組合の活動

低学年児童の下校見回り、各町内会で実施されている夜回り活動は今年で13年になります。不良のいない安心安全なまち牛田新町には子育てしやすいのか若い人の転入者も多く小学校の児童数も増えていると聞きます。高齢化が進み若い世代へのバトンタッチがスムーズに行くよう牛田新町社会福祉協議会は不特定多数の世代間交流を進めてまいります、現役世代の参加を希望します。

1-2丁目防犯活動

2丁目地下道、1丁目地下道、新牛田公園ビッグウェーブ経由太田川堤防沿い、およびセブンイレブンの祇園新道沿いを防犯活動しています。



学童の下校見守り活動

低学年を対象にした下校見守り活動は祇園新道沿いの3-2町内会、4丁目町内会がまた坂の上を下校する学童を対象に3-3町内会と老人会の高齢者が見守り活動を平成16年から実施しています。

10年間160階段下まで出迎えた

福山さん(元3-2町内会長)
毎週月、水、金10年間続いた下校見守り活動



街角での美しい光景

3月22日子ども安全の日に感謝の手紙が子どもたちから見守り隊(3-1, 4丁目)へ渡されました、また父兄の母親から見守り隊へ1年間の見守りに対し感謝の言葉がありました。



坂之上の下校

見守り隊

3-3町内会と老人会

毎日低学年の下校見守りをしています



体育協会の取り組み

少年ソフトボールチーム

チーム編成ができて試合ができるようになりました。体協には少年サッカークラブ、剣道クラブ、柔道クラブ、空手クラブ、卓球クラブ、ソフトバレー、ソフトテニスがあり体育を通じて青少年の健全育成に寄与しています。



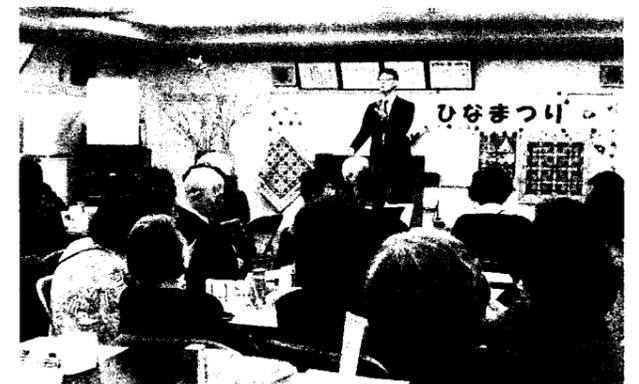
自在坂神社秋祭り

不特定多数の町民が楽しめる秋祭り、神楽



民生院児童委員協議会のなごみの会

ひな祭りと七夕祭りを開催
高齢者が集い区健康長寿課の講話を聞きました。



救急医療情報キット は医療費・介護費用の負担の軽減つながります、救急搬送先がすぐ決まり医師の処置が早く行われるほど回復が早く家計への負担も少なくなります。未加入の方は直ぐ入りましょう。社会福祉協議会・町内会・かかりつけ医に相談ください。キットは実費 100 円です。キットに入れる安心カードは牛田新町社会福祉協議会にあります無料で差上げます、町内会経由申込み下さい。

「緊急時に」あわてないための「救急医療情報キット」 ～高齢者や障がいのある方の万が一の備え～

自宅で「具合が悪くなったら・・・」

救急医療情報キット(以下「キット」)は、高齢者や障がいのある方が自宅で急病になった時、救急隊が迅速に対応するために役立つものです。

キット(筒)の中に、持病・かかりつけ医・お薬情報などの医療情報や、緊急連絡先などの情報を入れ、冷蔵庫の内側扉(写真右)で保管しておく、救急搬送の際、救急隊員がその情報を医療機関等にスムーズに伝えることができ、迅速な対応が可能となります。

救急キットは冷蔵庫 内側扉で保管

【救急キットの中に入れるもの】

- 救急安心カード
- 薬剤情報提供書(写)またはお薬手帳(写)
- その他・健康保険証(写)・診察券(写)
- 写真(本人確認ができるもの)など



①救急通報



※玄関扉の内側にもステッカーを貼っておく。

②発見・確認



③搬送



このキットに入れる医療情報等は、最新の情報にしておくことが重要です。そうしなければ、救急の際に適切な処置を受けることができません。

最初にキットに入れた情報が、入れたきりにならないよう、自分で更新することも大切です。

また、自分では難しい方は、ご家族や地域の方をお願いするなどして情報を更新しましょう。

この度、東区医師会の医師等が、往診や診療時にキットの情報を更新する支援や、病院にキットのサンプルを置いたり、キットを準備した方が良い患者さんに設置を勧めるなどの支援を行うことになりました。

是非かかりつけの先生にもご相談ください。

※ キットに入れる医療情報等は、最新の情報にしておくことが重要です。

その情報の必要項目を抽出するために、次のページの「救急安心カード」のモデル案を作成しました。

作成メンバーは、モデル案の一番下に記入しています。また、このモデル案は、必ず使用する必要はありません。

あくまでも案ですので、ご自由に加工していただいても結構ですし、地区で作成し、使用している

「救急安心カード」を、そのままご使用いただいても構いません。

編集後記：牛田新町は包括支援システムを7月から実施予定です、社会福祉協議会、町内会、女性会、老人会の関係者が一致協力して取り組みます。自分の健康は自ら維持しましょう。戸外へ出て、またサロンへ出席して元気に過ごしましょう。

ご意見ご要望をお待ちしております。連絡先 090-7997-6336 社協 古川平三郎